※令和４年度以降入学生用

学校番号	1206

令和５年度　教養科

教科	教養	科目	(学)日本語表現	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本語の４技能「聞く」「話す」「読む」「書く」の中で、特に「話す」「書く」力を高め、実践的な日本語を学習します。
日本語を学習する中で日本の伝統や文化についても学び、多文化理解を深めます。
日本語能力試験の合格を目指し、生徒それぞれの目標に合わせて問題に取り組みます。
日本語力がつくと、他の教科の授業も理解しやすくなります。主体的に学習に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

日本語の４技能の中で、特に「話す」「書く」力を伸ばし、標準的な文章を聴解・読解し、考えを言葉や文章にする。

日本語独特の表現を学んで、母語との違いを考察する。日本の伝統や文化を知り、自身の考えを表現し、伝える。

日本語のさまざまな文章に触れ、生徒それぞれの到達度に応じた目標・課題を達成できるよう努力する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本語の言葉や表現を理解し、場面に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。日本語の標準的な文章を聴解・読解し、考えを話したり書いたりすることができる。	日本独特の表現を学んで、母語との違いを考察することができる。日本の伝統や文化を知って自身の考えを表現し、伝えることができる。	さまざまな文章に触れて日本語の表現を学ぶ中で、生徒それぞれの到達度に応じた目標・課題を達成できるよう努力することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字・言葉	小学校 5･6 年生で習う漢字の読み・書き 擬態語・擬音語	a:漢字を用いて日本語の簡単な文章を読み書きすることができる。 b: 擬態語・擬音語について学習し、例文をつくって発表することができる。 c: たくさんの日本語に触れ知識を意欲的に身につけ、活用しようとしている。	定期考査	発表 提出物	提出物 取組状況
	敬語	敬語の種類 特別な言い方	a:敬語の種類を理解し、特別な言い方の知識を身に付けている。 b: 敬語の使い方や日本文化を学び、日本語と母語との違いを考察することができる。 c:敬語の知識や使い方を意欲的に身につけようとしている。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 取組状況
2学期	聞き取り・慣用句	聴解 慣用句・ことわざ	a:日本語の日常会話を聞き取り、大まかな意味を理解することができる。 b:慣用句やことわざを学び、例文をつくって発表することができる。 c: それぞれの目標に応じて、日本語を聞く力・話す力を身につけようとしている。	定期考査	提出物 発表	提出物 取組状況
	敬語と礼儀	場面に応じた敬語の使い方 メール、手紙の書き方	a: 敬語や日本独特の表現に関する知識を身に付け、場面に応じて活用することができる。 b: 季節の挨拶を学び、日本の四季を感じる文章とともに自分の考えを伝えることができる。 c: 日本語の表現や場面に応じた敬語の使い方を意欲的に身につけようとしている。	定期考査	提出物	提出物 取組状況

※令和４年度以降入学生用

3学期	語彙	分野ごとの語彙	a:分野ごとの語彙を用いた例文を読み、理解することができる。 c:分野ごとに語彙を学び、それぞれの目標に合わせて日本語力を身につけようとしている。	定期考査		提出物 取組状況
	自己表現・面接	自己分析・自己表現 模擬面接	a:性格を表す言葉について理解することができる。 b:自己分析をして自己PR文を書き、発表することができる。 c:自己分析や模擬面接に意欲的に取り組もうとしている。	提出物	提出物 発表	提出物 取組状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度